

助成金・補助金ありがとうございます

公益財団法人中央競馬馬主社会福祉財団様より福祉車両の助成を頂きました

平成30年度施設整備等助成事業として、公益財団法人中央競馬馬主社会福祉財団様より助成金(100万円)を頂き、ダイハツアトレーの福祉車両を購入させていただきました。



ここに事業完了のご報告を申し上げますと共に、公益財団法人中央競馬馬主社会福祉財団様をはじめ、ご協力を賜りました関係者の皆様に謹んで感謝の意を表します。

利用者様の受診同行や外出支援の手段として大切に使用させていただきます。ありがとうございました。

「防災倉庫の設置」助成金を頂きました

社会福祉法人滋賀県共同募金会様より平成30年度赤い羽根共同募金助成事業「防災活動支援事業」により助成金(23万円)をいただき、このたび防災倉庫を設置いたしました。



お陰様で、これまで分散していた防災備蓄品等を1カ所で保管することができ、万に備えての体制が強化できました。

社会福祉法人滋賀県共同募金会様をはじめ、ご協力を賜りました関係者の皆様に謹んで感謝申し上げます。誠に有難うございます。

平成30年度湖南市高齢者福祉施設等施設整備費・推進費補助金を頂きました

グループホームほだいじでは、経年により不具合が出ていた及びデッキの改修にあたり、湖南市より補助金(171万4千円)を頂き、整備することができました。これにより入居者様も安心安全にお住まい頂けます。誠に有難うございました。

2018年度 業務改善活動成果発表会

2019年2月21日に、12事業所が一年間にわたって業務改善に取り組んだ成果を発表しました。2018年度のQC方針は、①継続

②本質(ケア品質、業務効率、職員満足) ③コミュニケーション(共に考え支え合う)、として、それぞれの事業所が創意工夫した素晴らしい活動を行いました。成果発表会には、ご家族様、民生委員、地域の事業者なども参加され、審査にも参加して頂きました。ちいろばQC大賞は、デイケアの家おしどりが取り組んだ「ウォーキング」による心身の機能向上の取組みとなりました。魅力ある周辺地域をウォーキングすることで歩く距離が伸び、歩行意欲の向上、筋力やバランスの向上がみられました。表彰は、下記のとおりです。



各賞/事業所名	テーマと概要
近江ちいろばQC大賞 デイケアの家おしどり	周辺地域の「ウォーキング」をすることで、握力やFR(ファンクショナルリーチ)などの運動機能が向上した。
ハイパフォーマンス賞 (ケアハウスピスガこうせい)	「生きる喜び」が湧くような小規模サークルを立ち上げ、やりがいのある充実した生活を送っていただく取組みを行った。
グッドパフォーマンス賞 (グループホームほだいじ)	日中に強い眠気があり、共同作業や散歩などへの参加が少ない方の夜間の睡眠について睡眠の量と質を評価した。
オーディエンス賞 (ゆめとまの家おしどり)	「利用者・家族との信頼関係」「地域交流」「広報活動」「介護技術や知識の向上等」に取り組む新規利用が増加した。

近江ちいろば会創業者 後宮 俊夫氏を悼む

森口 茂



社会福祉法人近江ちいろば会の創業者である後宮俊夫氏が2018年12月23日にご逝去されました。享年96歳でした。天国で神様と共に過ごしていただいていることと思います。後宮俊夫氏は、どのような場合でも、人を受け入れ、神様の愛の実践者でした。また、キリスト教会総会議長、大学理事長、社会福祉法人設立者として大きな働きをされた人でした。近江ちいろば会の理念「人にしてもらいたいと思うことを、人にもしなさい」は、本

人の意向を一番大切に、尊厳を守るようにとの宣言です。私たちは、この理念の踏襲者として仕事をしていきたいと願っています。経歴は波乱万丈の人生で1922年～1945年 軍人の家系に生まれ、海軍兵学校を卒業し第二次世界大戦に参戦1945年～1993年 終戦後公職追放で真珠の養殖などを手掛けた後、榎本保郎牧師と出会いキリスト教入信、牧師となる 日本基督教団総会議長5期10年務める

敬和学園理事長となり、敬和学園大学設立1994年 社会福祉法人 近江ちいろば会設立2002年 デイケアの家おしどり設立2004年3月 館長を退任2018年12月23日 ご逝去 クリスマントゥーデイのホームページに、『戦争経験者に聞く戦後70年(1):海軍将校として戦艦「霧島」で戦い、戦後牧師に 後宮俊夫牧師が語る「キリストの平和」』が掲載されています。

定期採用職員のご紹介

2019年度は、法人初めての高卒2名、大卒2名の新卒採用4名、さらには作業療法士、看護師、管理栄養士、介護福祉士の専門職などの10名の方が、当法人の仲間として加わりました。また、フィリピンからの留学生2名(ラン マリチョ レドンドさん、ボンガド レイヤネン パスキールさん)の介護福祉士専門学校における就学支援を行い、又アルバイトとして働いて頂くこととなりました。



新卒採用
左から
山崎 彰太さん、高田 七百美さん
中西ひかりさん、村田 未優さん



専門職採用
前列左より
矢倉 美佐さん(グループホーム ほだいじ)
粟津 里奈さん(グループホーム みなくちみんなの家)
森口 茂 理事長
木田祐美子さん(デイサービスセンター みなくちみんなの家)
須山都志子さん(小規模多機能型居宅介護事業所 ほだいじみんなの家)
山脇 恵子さん(ほだいじホームヘルパーステーション)
片野 美幸さん(厨房)
寺本 章恵さん(ゆめとまの家おしどり)
鎌田 一輝さん(小規模多機能型居宅介護事業所 ほだいじみんなの家)
井上 直也さん(小規模多機能型居宅介護事業所 ほだいじみんなの家)
村上 順哉さん(ほだいじ訪問看護ステーション)



留学生

寄付金・後援会費感謝報告

2018年9月7日～2019年3月31日現在[順不同・敬称略]

中道 晴夫	松平 千鶴子	海野 勝久	高橋 初生	原田 潔
藤井 淑子	森口 まつ江	日本キリスト教団 水口教会	尼崎竹谷教会	
脇坂 照世	後宮 明子(京子)	信愛幼稚園	扇田 紀子	
森口 孝彦	富岡 幸生	森口 茂	水口子どもの教会	
榎本 和子	山崎 敬子	垣内 尚美	京都丸太町教会 シオン会	



事業内容

ケアハウス ピスガこうせい/ほだいじデイサービスセンター/ほだいじホームヘルパーステーション/ほだいじ居宅介護支援センター/グループホームほだいじ/中央デイサービスしんあい/小規模多機能型居宅介護 ほだいじみんなの家/みなくちみんなの家(グループホーム、デイサービス、ケアプランセンター)/ほだいじ訪問看護ステーション/デイケアの家おしどり/ゆめとまの家おしどり/ふれあいの家おしどり/ほだいじるんるんクラブ

発行日 2019年5月
発行責任者
理事長 森口 茂
振後援会費
取り扱い金融機関 郵便局
口座番号 00960-0-109363
社会福祉法人 近江ちいろば会
会費・年額1口5,000円(何口でも可)

ピスガからの風 第50号

2019年5月

社会福祉法人 近江ちいろば会
ピスガこうせい 〒520-3242 滋賀県湖南市菩提寺327-4

TEL.0748-74-3900(代表)
FAX.0748-74-3910
http://chiroba.jp/

理事長挨拶

理事長 森口 茂



皆様のご支援により2018年度も何とか無事終えることが出来ました。多くの成果と共に、見直さなければならない点が多々ありますが、修正するところは修正し2019年度は新たな気持ちで臨んでいきたいと思っています。近江ちいろば会では、年度の事業計画を事業所毎に立案します。この

事業計画を一年の羅針盤として進める為に、1月から3月にかけてかなりのエネルギーを投入します。それは、「思考は現実化する」「人も事業も願わなければ、実現しない」という強い思いからです。森口が就任して以来15年実施してまいりました。これが、近江ちいろば会の強みとなっていると思います。PDCAサイクルのPへのこだわりが大切だと思っています。

2018年度の総括と2019年度の方針

2018年度の成果

- ①2019年4月採用 新卒者4名(高校卒2名、大学卒2名)の採用ができました。
*ブランド力向上を目指して、ホームページ、SNS、採用パンフレットなどの広報活動強化の成果ができました。
- ②デイサービス内の機能訓練Ⅰ、Ⅱの定着が図れました。
生活リハビリ+身体的機能向上(リハビリ) =在宅生活維持に繋がっています。
- ③訪問看護体制が強化されました。訪問看護師7名体制(3月末現在) 介護と医療、リハビリの連携が進んでいます。

2019年度の取り組み

- ①スローガンを「夢のある、働きがいのある、愉快的な職場」とし、働きやすい職場づくりで離職率を減らす取り組みを行います。目指すは離職率10%以内
- ②リハビリ強化で、訪問リハビリを始めます。
セラピスト4月1名、10月より2名体制を構築
- ③新たな事業展開の芽を探します。
*在宅看取り体制強化 *病院より在宅復帰に対応
- ④外国人留学生2名の専門学校受講支援と週2日の就労を始めます。
多様な働き手確保し、安定した運営を目指します
- ⑤地域に開かれた法人となるため、地域社会と関わってまいります。
*バザーの開催 2会場 *地域イベントへの参加
*認知症発見保護訓練への参加 *ふれあい事業で居場所づくり



在宅生活の継続/専門職の連携

介護士/ 生活リハビリ	セラピスト/ 機能訓練	看護師/ 医療的ケア	調理師/ 美味しい食事
----------------	----------------	---------------	----------------



人にしてもらいたいと思うことを、人にもしなさい
OMI CHIROBAKAI
社会福祉法人 近江ちいろば会

(福)近江いろいろば会の事業体系

一在宅介護と認知症ケアに重点をおいた質の高いケア

湖南市エリア

Table with 4 columns and 4 rows listing services in the Kanagawa area, including Kea House, Daijij, and Daijij Home.

甲賀市エリア

Table with 3 columns listing services in the Koganei area, including Kea Plaza and Daijij.

各事業所の取り組み紹介

ぼだいじ訪問看護ステーション

事業所の特徴
住み慣れた地域や自宅で、その人らしく療養できるように支援しています。
2018年度の取り組み
24時間、365日対応し、利用者様の療養生活の支援を行いました。
2019年度に向けて
スタッフに作業療法士を迎え、訪問リハビリを開始します。



ぼだいじホームヘルプステーション

事業所の特徴
ご自宅に伺い、安心して日常生活がおくれるよう支えています。
2018年度の取り組み
それぞれの役割やもち味を活かしながら力を合わせる事ができました。
2019年度に向けて
「初心忘れるべからず」一人ひとりの利用者様に寄り添えるように、ヘルパー同士で不足する部分をカバーしあいます。



ケアハウス ピスガこうせい

事業所の特徴
一つ一つの事に全員で和気あいあいと取り組んでいます。
2018年度の取り組み
自立支援への取り組みとして小規模行事を多く開催したことで、普段活動の少ない方、引きこもりになっている方の活動の場を提供しました。
2019年度に向けて
自立支援への取り組みとしての小規模行事を定着させる。



グループホームぼだいじ

事業所の特徴
職員はお互いの存在や役割を尊重し、入居者様とご家族と共に支え合いながら楽しい暮らしを送っています。
2018年度の取り組み
入居者の方には出来る力を活かし、自信を持って生活をしていただく自立支援に取り組みました。
2019年度の取り組み
職員がいそいそと楽しく仕事が出来る環境を作り、その喜びが入居者様に大きく反映できるよう取り組みます。



小規模多機能型居宅介護事業所 ぼだいじみんなの家

事業所の特徴
その方が、住み慣れたご自宅で、出来る限り暮らし続けられるように支援するサービスです。
2018年度の取り組み
お寿司バイキングの実施や、地域のまちづくりフェスタ、夏祭りなどに積極的に出向きました。
2019年度に向けて
更に積極的に地域に出向き、事業所を地域の交流の場としてご利用戴き、開かれた存在としていきます。



ぼだいじ居宅介護支援センター

事業所の特徴
ケースの共有を行い、より多角的な視点できめ細やかな相談支援を行っています。
2018年度の取り組み
フットワークよく速くて丁寧な対応、地域での人と人との繋がりを大切に、自立に向けての相談支援
2019年度に向けて
わかりやすく、納得していただけるケアプランの作成
自立支援を目指した各事業所との連携
住みよいまちづくりのための地域のネットワークづくり



ぼだいじデイサービスセンター虹

事業所の特徴
介護職員、理学療法士2名、看護師、歯科衛生士が連携し、「心と身体が動く、元気が見えるデイサービス」をキャッチフレーズにし、在宅生活の自立に繋がる支援を行います。
2018年度の成果
機能訓練Ⅰに加え機能訓練Ⅱを行い、立つ歩く座るのに必要な筋力維持、家庭での動作に繋がる訓練、そして、やってみようと思われようなプログラムを充実させ、活動的になりました。
2019年度に向けて
ご利用者の満足度の向上につながるケアを



ぼだいじデイサービスセンターいこい

事業所の特徴
「自分らしくいられる居場所」そんなデイサービスを目指しています。家族も一緒に支えます。
2018年度の取り組み
「いこいはいいとこや〜」利用者からの温かい励ましで、職員は奮闘しました。
2019年度に向けて
「いつまでもあなたらしく」皆様との一期一会を大切に積み重ねていきます。



ぼだいじるんるんクラブ

事業所の特徴
るんるんクラブでは、総合事業通所型としてサービスを行っています。
2018年度の取組
出来る限り、元気に現在の生活を自宅で続けていただけるような取り組みを行いました。
2019年度の取組
今年度から営業日を水曜日のみに変更しました。昨年と同じように皆様が今の生活を続けて行けるような取組を行います。



ふれあいの家おしどり

事業所の特徴
月4回、金曜日に開所しています。毎週様々なことに挑戦し楽しい会話の絶えない一日です。
2018年度の取り組み
自立・自律支援を目指した取り組みや催しを行っています。
2019年度に向けて
住み慣れた場所で在宅生活を続けるには？これを実現するために、日々の生活にお



デイケアの家おしどり

事業所の特徴
「声が聞こえる、笑顔が見えるデイサービス」を目指しています。利用者さんとの会話と笑いをとても大切にしています。
2018年度の取り組み
生活リハビリの充実を行いました。
2019年度に向けて
2018年度の取り組みを土台にして生活リハビリの充実を図ります。



ゆめとまの家おしどり

事業所の特徴
広い畑と恵まれた自然、家のような環境で予防から介護迄変わらずに通い続けて頂く事が出来ます！
2018年度の取り組み
ご利用者自身の能力を発揮していただける活動、業務面では、職員の動きボードや様々な見直しや改善、ゆめとまを多くの方に知って頂くために、収穫祭やSNSなど広報に努めました。
2019年度に向けて
元気に在宅生活を続けるために、専門的な作業療法を取り入れ、生活に即した機能維持、



中央デイサービスセンターしんあい

事業所の特徴
少人数の家庭的な集いの中で、これまで培ってこられた力を大切に過ごして頂けるように心がけています。
2018年度の取り組み
喜びと楽しみの追求と、老人会、自治会、保育園など、地域に密着した交流を行うことが出来ました。
2019年度に向けて
介護技術の向上と医療的な視点の向上を目指していきたいと思ひます。



法人本部

事業所の特徴
専門業務を通して各事業所の健全運営をサポートするプロ集団です。
2018年度の取り組み
ホームページのリニューアルやSNSでのタイムリーな情報発信で、法人のブランディング強化が図れました。
2019年度に向けて
法人ビジョンの実現に向けて、より専門性の追求と事業所支援に注力します。



グループホーム みなくち みんなの家

事業所の特徴
アットホームで、職員がいそいそと働ける場所です。
2018年度の取り組み
ひもときシートを使用し、より根拠のあるケアを行う事が出来ました。
2019年度に向けて
思いを伝えるににくい方のニーズも把握し、行動する。



デイサービスセンターみなくちみんなの家

事業所の特徴
ご利用者やご家族の気持ちを考えられる、優しく思いやりのあるスタッフが、家庭があっても支え合って、活き活きと働ける事業所です。
2018年度の取り組み
パーセルインデックスの項目に添った体操を月替わりで考え、毎日実施し、自宅での生活に繋がりました。
2019年度に向けて
皆さんが住み慣れた家で安心して生活を送ることが出来る様、継続して自立支援に取り組めます。



ケアプランセンターみなくちみんなの家&調理室

メンバーの特徴
甲賀市水口町に開所して、8年目を迎えます。今年度も引き続き、児童福祉、障害者福祉、高齢者福祉等多分野で経験してきたケアマネージャーが地域の皆様のご支援、ご相談のお手伝いをさせていただきます。
☆みなくちみんなの家 調理室の紹介
毎日手作りの美味しい料理を提供しています。



厨房

事業所の特徴
厨房は職員全員がお料理大好きで、食べる事はもちろんの事、色々なフッキングを楽しみながら作りご提供させていただいております。
2019年度の取り組み
昨年度は「食のステーション構想」をスローガンに、厨房発信で皆様に食を通じての生活の楽しみや喜びをご提供させていただく事を念頭に、配食弁当などのご提供を新たに始めてまいりました。

